



社会医療法人 智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.39 令和5年5月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号 019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



理事長
智田 文徳

2023年、当院はおかげさまで開院50周年を迎えます。長年にわたる皆さまからのご理解とご支援に対し、この場を借りて心からの感謝を申し上げます。

さて、4年目を迎えた新型コロナウイルス感染症ですが、第5類への移行を前にウィズコロナの医療体制のあり方が行政主体で模索されています。当院も感染者受け入れの準備（2床）を進めており、地域医療の一端を担う医療機関としての責任を果たしたいと考えています。それと同時に、長年にわたり取り組んできた退院促進・地域移行をこれまで以上に推し進めるため、コロナ禍で滞りがちとなっていた、入院患者さんの外出泊やご家族との対面による面会に向けた準備も始めています。

感染対策に取り組みながら、地域社会に向けて開かれた病院を作り上げていくことは、大きなチャレンジとなります。だからこそ、私たちは「すべての人がいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり」という法人理念の実現に向け、職員一丸となって真摯に歩んで参ります。

今後どうぞよろしくお願いいたします。



～せいわ病院周辺の桜～

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

ごあいさつ



医師
小野 靖樹

2023年4月より勤務させていただいている小野と申します。

出身は東京ですが、初期研修をしたのが盛岡で、また東北地方で積極的に音楽療法をされているのが当院でもあり、お仕事をさせてもらっています。

医師としては当初の10年ほど脳外科臨床に携わり、学位、専門医をとったところで、精神科にかわりました。以後ずっと臨床を主に、大学にいるときは自閉症や双極性障害について、MEG、近赤外スペクトロスコピー、ウェアラブルセンサーを使った研究もしていました。

ただそうした測定も、他人に病気を理解してもらうのに少し役にたつくらいで、病気の本質に迫るものでなく自己満足のような気もしています。今は音楽が治療や予防に役に立つのではないかと考え、勉強しています。たくさんの患者さんを診るのは得意ではありませんが、本人や家族からの問診や心理検査に基づいたきちんとした見立てと心理教育に努めています。

余計な薬は処方しない、睡眠衛生や日常生活に重点を置いた丁寧な診察を心がけています。よろしくお願いいたします。

トピックス

今回は、ギャンブル障害治療プロジェクト「Voyage」と地域医療連携室相談状況報告です。

■ギャンブル障害治療プロジェクト「Voyage」の紹介

当院では令和2年10月より、ゲーム依存治療プログラム（NAT）を展開してきました。小中高生から成人まで、気づけば130名近くの患者さんに利用いただいています。ゲームは「目立つ脇役、悪役」とであると捉えてその背景にある生きづらさに焦点を当てるアプローチを大切に、これまで関わってきました。活動を通して「課金問題」の相談を受けることが度々あり、特に成人ケースは給料のつぎ込みや借金など、家族や社会を巻き込んだテーマであることが見えてきました。

また、令和4年度より当院通院中の方を対象に始めたNAT家族教室「紬（つむぎ）」の活動からも、依存の問題に悩む家族の支援の大切さを痛感していました。そんな中、ある講演会をきっかけにギャンブル依存（ギャンブル障害）に興味を持ち、院内のメンバーに声をかけ、令和5年度よりギャンブル障害治療プロジェクト「Voyage」を立ち上げることになりました。「ギャンブルにのめりこんでいた自分について見つめ直すこと」「回復のためにできることを考え、皆で協力していくこと」を目的としています。依存症治療は当事者にとって困難の連続です。嵐に巻き込まれたり、引き金により流されかけたり・・・そんな中でしっかりと錨（いかり）を下ろしながら自分らしく進み未来の道しるべになることを応援したい、という願いを込め、わたしたちはこのプロジェクト名を「Voyage（航海）」と命名しました。

ギャンブル障害とは、ギャンブルへの病的な執着のために自己のギャンブル行動を制御できず、治療的アプローチがなければギャンブルへの強い欲求が再燃し、やめ続けることが困難な状態のことを指します。ある報告によると、推定有病率は2.2%（男性3.7% 女性0.8%）、人口換算で191万人であり、これは代表的な精神疾患のひとつである統合失調症の有病率（一般に“100人に1人”とされる）よりも高いです。一方で実際に治療を受けている患者さんは少なく、治療ギャップが大きな課題となっています。経済的困窮、離婚、家族の不和、窃盗や横領などの犯罪、自殺企図など、重篤な個人的、家庭的、社会的問題を引き起こすことが知られています。うつ病、発達障害、アルコール依存症等、普段我々が診療している疾患との関連性も非常に高いです。世界の電子ゲーム機（パチンコやスロットの機械）の56%が日本にあるとされます。



近年はコロナ禍の影響もあり、公営競技のネット投票とネットカジノ等が増加傾向です。

岩手県は人口10万人あたりのパチンコ台数が多く、また岩手競馬がある地域性からも、よりギャンブル障害の対策が急務です。現在保険適応のある薬剤はなく、認知行動療法が有効であることが知られています。

当プロジェクトでは、「SAT-G」というテキストを用いて、第4月曜日午後に診察とプログラムを実施します。全6回コースです。定期的に評価スケールを実施しながら治療効果を判定していきます。これらを定期測定しデータ分析することで治療効果判定及び付随する課題の抽出へ繋がたいと考えています。地域の医療機関および支援機関(精神保健福祉センター、保健所、県障害福祉課、自助グループ、家族会)等と連携しながら、専門性の高い治療の提供を目指します。また、借金や就労に関する相談サポート、資料を用いた家族教育および家族会の紹介など、家族支援にも取り組んでいきます。

これからわたしたちにできることから、正しい知識の啓発活動と地域貢献に努めていきたいと思っています。

これからわたしたちにできることから、正しい知識の啓発活動と地域貢献に努めていきたいと思っています。



■令和4年度地域医療連携室相談状況報告

日頃より関係機関の皆様には大変お世話になっております。

昨年度は地域の皆様から約400件、ご本人・ご家族様から約480件のご相談をいただいております。内訳は図1～3をご参照下さい。

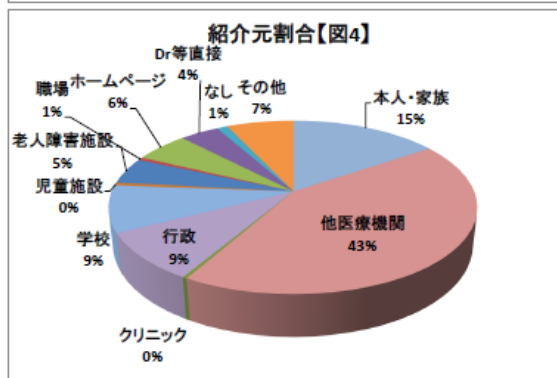
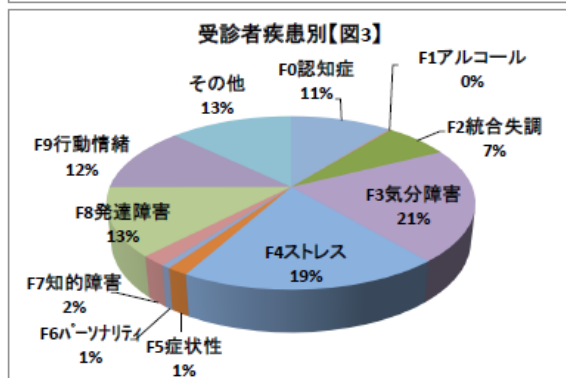
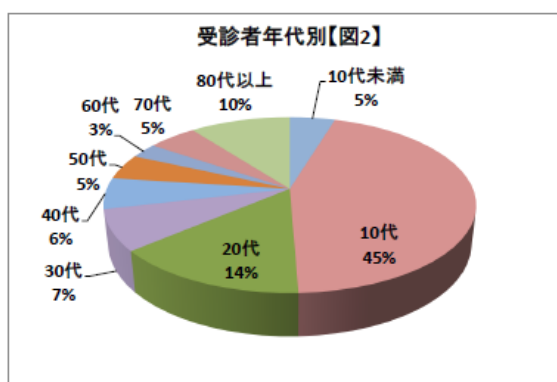
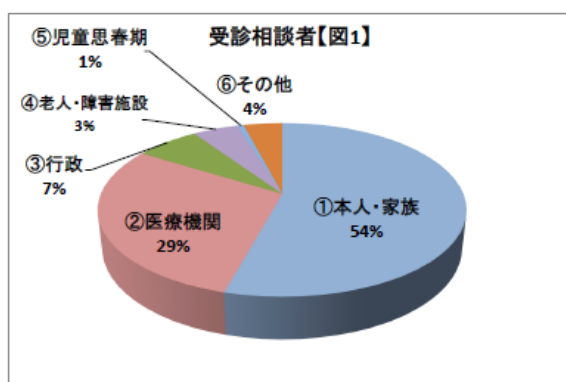
相談総数は885件であり前年度から約10%減少しています。受診者の年代は10代が増加し全体の半数を占め、30代から80代まではやや減少しております。

20歳未満の方は発達障害に関連する症状の方が多く、80歳以上では認知症関連症状の方が多い傾向があります。

疾患別の前年度比較では、気分障害が全体の占める割合で6%ほど増加。ストレス関連のものが11%減少しております。

入院などの緊急性を有する患者様の受け入れにつきましては迅速に対応するようにしてまいります。患者さんの症状に応じた環境調整のためにお時間をいただくこともございます。

今後も、皆様の要請にお応えできるよう努めてまいります。受診相談など、お気軽にお問い合わせ頂ければ幸いです。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。



～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chiikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当		佐々木(清)医師	田嶋医師	佐々木(浩)医師 菊地医師 鈴木医師	遠藤医師 伊藤医師 佐藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師 第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師	田嶋医師 智田医師 佐藤医師	佐々木(浩)医師 遠藤医師 伊藤医師	智田医師 小野医師	佐々木(清)医師	

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分
（国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側）

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
（県道36号・国道396号経由 同上）

※無料駐車場完備